

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 回 学校規模学校配置適正化検討委員会
開 催 日 時	平成 2 2 年 1 1 月 1 8 日 (木) 14 時 00 分～16 時 08 分
開 催 場 所	小美玉市役所 第 2 会議室
出 席 者	<p><b>【出席委員】</b>          水本徳明 中村強 山口良元 中川稔 矢口忠衛 新谷宣江          星野広幸 福田智彦 西村浩一 立原幸子 鈴木美樹          邊見亜津子 中島淨 沼田マサ 竹内昌信</p> <p><b>【欠席委員】</b>          野村武勝 小林義治 小仁所浩 飯島利武</p> <p><b>【教育委員】</b>          澤畠照子 中村三喜 沼田新 本田仁子 沼田和美</p> <p><b>【事務局】</b>          小松修也 石島光夫 樽見博文 海老澤光志 久保田一江          菅谷清美</p>
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校適正化の趣旨及び取り組みについて</li> <li>・ 小美玉市の小中学校の現状と今後の推移</li> <li>・ 公立小中学校の適正規模についての国及び茨城県の動向</li> <li>・ 意見交換</li> <li>・ その他</li> </ul>
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、委員名簿、教育委員・事務局名簿、委員会設置要綱、 諮問書(写)、諮問趣旨、小中学校適正規模・適正配置検討の趣 旨、国及び茨城県の動向、ほか参考資料)
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 1 人)

## 協 議 の 内 容 (協議経過・結論等)

### 【委員長の選出について】

澤島教育委員長が仮議長となり議事進行する。事務局案との意見により選出。委員長に 水本徳明委員 を全会一致で選出する。

以降、水本委員長が議長となり議事進行する。

### 【諮問書交付】

諮問事項

- 1 小美玉市立小中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方について
- 2 小美玉市立小中学校の適正配置の具体的方策について

### 【協 議】

- (1) 学校適正化の趣旨及び取り組みについて
- (2) 小美玉市の小中学校の現状と今後の推移

事務局より資料 2, 3, 4 に基づき一括して説明する。

委 員：適正配置で、小中一貫教育についての取り組みについて検討するとあったが、視点が違うのではないか。どうつながっていくのかよく分からない。

事務局：検討していく中での一つの情報としてお伝えした。

委 員：実施計画は、平成 24 年 3 月頃の策定を目指すということだが、その時期に統合ということを目指すのか。

事務局：統廃合があるかどうかということは、現時点では申し上げる状況ではない。皆さんの議論の積み上げの結果で方向性が見えてくることになる。

委 員：小規模校の環境で子育てをしてきた。今後の環境が同じであってはいけないのか。その部分での議論が必要なのか。

事務局：ご自分のお子さんのことだけでなく、子ども全体としては、学校全体としてはどうなのか、ということを検証しながら、これからの学校のあり方、望ましい教育環境を皆さんで議論していただきたい。

- (3) 公立小中学校の適正規模についての国及び茨城県の動向

事務局より資料 3 に基づき説明する。

- (4) 意見交換

委 員：会議の名称の「適正化」という言葉が気になる。機械的・威圧的・行政的

な印象を持った。どういう流れで一般化してきたか教えていただきたい。

委員長：学校の適正規模という考え方は昔からあるが、無条件にこれが適正だと言えるものは無い。小美玉市がどういう教育をしたいのか、どういう子どもたちを育てたいのかを検討いただきながら、そのためにはどういう学校の規模や配置が望ましいのか、というような考え方で議論していただきたい。

委員：数的なものではなく、どういう子どもたちを育てるかということを考えていく会議にしなければ、何年経っても解決の出ない会議になってしまうのではないかと思う。

委員：他の地域の様子等を十分勘案しながら、会議の中で「子どもたちのためにどういう姿が一番いいのか」について話し合いをしていけば、素晴らしい結論が出てくるのではないかと感じた。

委員：茨城県の指針では、遠距離通学に対してのスクールバス購入の補助が含まれている。初めから統合するということが読み取れる。

委員：小規模校のPTAでは、この委員会の動向には敏感になっている。委員会の内容をPTA評議員会で報告していいか。

事務局：問題ない。この会議の内容は市のホームページを通して広く市民の皆さんにお示しする。次回以降の会議については、事前にお知らせし、傍聴していただきたい。

委員：女性の代表として来ているので、皆さんの意見を聞いて取りまとめてやっていきたい。

委員：自分の子どもの在学中に良くなる事は無理かなと思いつつも、それ以降の子どもたちのために力になればと思う。

委員：基本は「子どもたちのため」で、少しでも学力が伸びるような子どもたちが増えて欲しい。

委員：統合という方向性になった場合には早めの説明会を開き、保護者の皆さんからいい意見をいただけるような形をとればスムーズに行くと思う。メリット・デメリットをきちんと議論して、これからの子どもたちのためによりよい教育の環境づくりができればと思う。

委員：最初の会議から学校の統廃合を含めた考え方から入るのかと思っていたが、「子どもたちのためにどうするか」という話し合いから始めるということで、学校の現場の人間として大変ありがたい。小規模校ではデメリットのほうが表に出やすい。学校の現状などをいろいろな面で話ができればと思う。

委員：学校の規模それぞれにメリット・デメリットがあるので、地域の方、PTAの方と意見交換しながら煮詰めていければありがたい。統廃合が進んでいる市町村の実態と、統廃合のメリット・デメリットを提示していただきたい。

委員長：先行して適正配置を進めた自治体はどうかということも勉強しながら、進めていきたい。小美玉市の教育をどうするか、子どもたちをこれからどう育てていくかという根幹に関わる問題だと思うので、今後慎重に、なお且つ

皆様のご意見を忌憚無く出していただきながら進めてまいりたい。

**【今後の予定】**

第2回 学校規模学校配置適正化検討委員会

開催日時 平成22年12月21日（火）

午後2時から

開催場所 小美玉市役所 小川総合支所 大会議室